

会 長	入江公敏	会長エレクト	小柳智裕	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	小柳智裕	幹 事	黒坂 毅		大和中央ビル 301
プログラム・	辻 彰彦	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
クラブ会報担当	橋本日吉				E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

「よいことのために 手を取りあおう」

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「あるべき姿、明るい未来を目指そう」

【本日のプログラム】 2月15日 第6グループ「Inter City Meeting」 会場 レンブラントホテル海老名

【次回予告】 2月19日 第5回クラブ協議会「IMを終えて」 副会長、幹事

【第2186回例会】 令和8年2月5日(木) 【SL】黒坂 毅 君 【司会SAA】野口 宏 君

【斉唱】「君が代」「四つのテスト」 【ゲスト】白 云 森 様(米山奨学生)

会長の時間 小柳 智裕 副会長

今日は、**IM(インターシティ・ミーティング)**について、少しお話しさせていただきます。

IMというと、「ちょっと堅そう」「長時間で大変そう」というイメージを持たれる方もいるかもしれません。

でも実は、他クラブのロータリアンと直接話せて、刺激をもらえる貴重な場だと私は思っています。

普段の例会では、どうしても同じ顔ぶれで、同じ空気の中で活動していますよね。IMでは、考え方も活動スタイルも違うクラブの話が聞くことができ、「あ、そんなやり方もあるんだ」とか、「それ、うちのクラブでも使えそうだな」と感じる瞬間がたくさんあります。

また、IMは勉強会というより、ロータリーの横のつながりを広げる場でもあります。顔を知っている人が増えるだけで、次に会ったときの距離がぐっと縮まりますし、それが将来の合同奉仕や協力につながることもあります。

今年度、大和中ロータリークラブとしては、「せっかつ



行くなら、何か一つでも持ち帰ろう」そんな気持ちで参加していただけたら嬉しいと思っています。

IMは、会長や幹事だけのものではありません。参加した会員一人ひとりの気づきが、クラブを少しずつ元気にしていく、そんな場だと思っています。

ぜひ気負わずに、交流を楽しむつもりで参加してみてください。きっと、新しい発見や出会いがあるはずですよ。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 黒坂 毅 幹事

①2月のRレートは1ドル154円です。

②地区より「済州を知り国際社会奉仕を経験する旅」のご案内が届いております。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。



委員会報告

親睦活動委員会 土屋 大輔 委員長

会員誕生日 高橋 清 君 2月12日

池澤 利男 君 2月13日

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 10名(敬称略)
26名	13名	56.52%	65.22%	3名	阿萬、藤岡、原島、星川、池澤、入江、板垣、長野、新村、大根田

	入江 公敏 君	2月14日
配偶者誕生日	土屋 幸余 夫人	2月16日
	黒坂恵美子 夫人	2月17日
創業記念日	高橋 政史 君	2月1日



卓 話

「職業奉仕について」

土屋 大輔 職業奉仕委員長

今年度(2025年～2026年)大和中RC職業奉仕担当の土屋です。

職業奉仕担当として去年9/7の地区大会と11/29地区職業奉仕セミナーに出席してきました。その際に1月の「職業奉仕

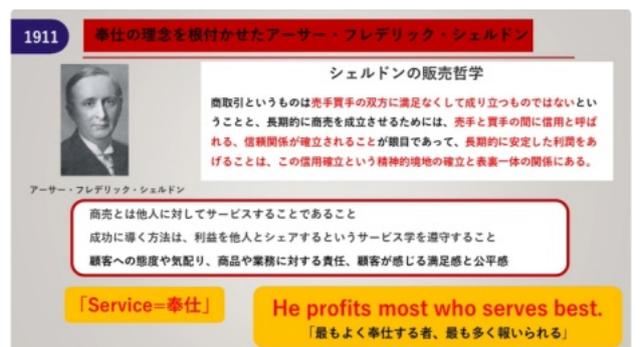
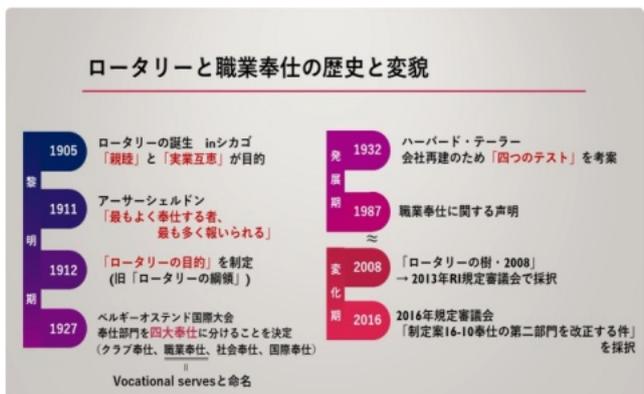


月間」の期間中に、各自クラブの例会において職業奉仕についての時間を作ってほしいとの話がありましたので、本日は少し時間をいただき職業奉仕について動画を中心に話をさせていただきます。これから見ていただきたい動画は11/29の地区セミナーの時に非常に分かりやすい動画があると教えていただいたものです。少し前の動画にはなるのですが、職業奉仕の重要性について非常にわかりやすいと思いました。

この動画の内容は次のようになります。

まずは、職業奉仕の言葉の説明から始まります。職業奉仕とは、多くのロータリアンが分からないといいつつ実は立派に職業奉仕を実践されているロータリアンがほとんどであり、我々ひとりひとりが職業人としてロータリアンとして持続、発展していくために、何を基準とし、どう行動すべきか分かりやすい共同言語にしたものが職業奉仕という言葉であるという説明です。

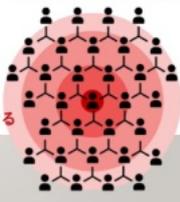
次に、その職業奉仕の理解を深めるための話と続き、ロータリーの誕生と職業奉仕の歴史の説明、我々が常に見聞きする、ロータリーの目的や五大奉仕について、そしてそれらを実現するための行動指針である四つのテストの説明があり、後半にはロータリー活動の幹である職業奉仕の重要性の説明へと続きます。それでは動画をごらんください。



1911 奉仕の理念を掲げたアーサー・フレデリック・シュルドン

アーサー・シュルドンらの努力によって、ロータリー活動の基本は自分の職業を通しての奉仕であるというロータリーの根本原理が定着

職業奉仕は、
ロータリアン一人一人が例会に出席して他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、
↓
周囲の人達のモラルを向上させて、業界の大手となり
↓
その業界のモラルを向上させていくこと
↓
やがては、社会全体のモラルが高まっていくことになる



「ロータリーへの私の道」
「ロータリークラブの会員は、その一人一人が自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である」
ポール・ハリス

相模原南ロータリークラブによる職業奉仕実践例

2023年2月13日相模女子大学高等部で行われた出前授業

地域で奉仕活動を行う相模原南ロータリークラブ（徳久家子会長）は2月13日、相模女子大学高等部1年の生徒を対象に出前授業を行った。

当日は10人のメンバーが講師を務めた。「職業を知る」をテーマに各講師が仕事を通して生徒たちに知ってほしいことなどを話した。教壇に立った藤原不動産鑑定（相模大野）所長の藤原新一さんは「生徒は真剣に話を聞いてくれた。問いかけると活発に回答してくれた」と授業の様子を振り返った。

生徒たちからは「好きなことをしているところがカッコいい」「自分の将来を考える時の参考にしたい」などの声が寄せられた。



タウンニュース記事転用

1912 **ロータリーの目的**

- 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

大和ロータリークラブによる職業奉仕実践例

大和ロータリークラブ主催の「やまと児童絵画コンクール」夏休み期間にテーマに沿った絵を描いてもらい、コンクールと絵画に参加してもらう企画

VR展示・WEB展示のご案内
第3回やまと児童絵画コンクール2023
～私たちのオリンピック～



1932 **四つのテスト**

1932年世界大恐慌
ハーバート・テラーは、大不況の中で破産の危機にある会社を、救って欲しいと要請される

破産危機の会社を再生するには
「人格」と「信頼性」と「奉仕の心」
つまり、職業奉仕が必要

その育成の指針として会社の従業員が使えるような倫理上の尺度になる項目として作られたのが、
「四つのテスト」
この4つのテストの実践により、見事に危機的状況から会社を再生させる事に成功

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

ロータリーを通して学んでいる「奉仕の理念」を職場に持ち帰り、職業で世の中に貢献し奉仕する。
職業スキルや経験値をクラブの奉仕プロジェクトで発揮する。

「職業奉仕を実践しましょう」
ご清聴ありがとうございました
2023-2024年度
2780地区職業奉仕委員会

2016 **職業奉仕とは** 2016年規定審議会「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」を採択

ロータリークラブ定義 第6条2

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。
会員の役割には、ロータリーの理念にしたがって自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。（一部略）

倫理的・精神的
まさに、自分の職場で、職業を遂行する上で、「奉仕の理念」「4つのテスト」を道しるべとしましょう。それこそが、「職業奉仕」とすよと明記されています。

実践的・行動
自分の職業スキルを活かして、社会問題やニーズに役立てるために、クラブプロジェクトに応えましょう明記されています。

職業奉仕について

①よく理解している15% ②理解しているが上手く説明出来ない59% ③詳しく理解出来ない
2021-22年度 地区研修協議会でのアンケート



2008 **ロータリーの樹** 2008年RI国際会議 渡辺好政RI理事 講演資料



ロータリー財団 国際奉仕 米山奨学会
社会奉仕 職業奉仕 青少年奉仕
奉仕の理想
ロータリーの目的 四つのテスト
経典の奉仕 最も多く奉仕する者 最も多く報いられる
親睦 クラブ奉一 助け合い

職業に就かない人もロータリーの会員「職業奉仕」は？

- ・職業分類の緩和により、主婦や団体役員などの会員の参加と「職業奉仕」
- ・ローターアクトは既に同じ会員
- ・社会に貢献する人、社会活動の役割を持つ人は会員

【ロータリーの目的】

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること;
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

【五大奉仕とは】

1. クラブ奉仕
2. 職業奉仕
3. 社会奉仕
4. 国際奉仕
5. 青少年奉仕



【四つのテスト】

1. 真実 かどうか
2. みんなに 公平 か
3. 好意 と 友情 を 深めるか
4. みんなの ためになる かどうか

動画視聴ありがとうございました。

次に、前々回例会の「会長の時間」でも小柳副会長が職業奉仕についてお話いただきました。こちらの内容も非常に素晴らしいものでした。失礼とは思いますが、再度、朗読させていただきます。

【会長の時間】

1月は「職業奉仕月間」です。

“職業奉仕”というと、どうしても堅い言葉に聞こえますが、私はもっと身近なものだと思っています。

ロータリーの職業奉仕は、特別なことをするよりも、自分の仕事を通じて、誰かの役に立つことを意識する。その積み重ねが、クラブの力になり、地域の力になり、

最終的には社会全体を良くしていく。そんな考え方だと感じています。

例えば、・お客様や取引先に、いつもより一言だけ丁寧な声をかける・後輩や部下に、少しだけ時間を割いて話を聞く・自分の専門知識を、地域の誰かの相談に役立てる

こうした“小さな行動”こそ、職業奉仕の原点ではないでしょうか。

ロータリーの理念は立派ですが、実践は意外とシンプルです。

私たち一人ひとりが、日々の仕事の中で「ちょっと良いこと」を積み重ねるだけで、クラブ全体の雰囲気も、地域への影響力も大きく変わっていくと思います。

今月は、ぜひ皆さん自身の仕事を振り返りながら、「自分にできる職業奉仕って何だろう」

そんなことを少しだけ考えていただければ嬉しいです。

この「会長の時間」でのお話と本日の内容を合わせ、職業奉仕の卓話とさせていただきます。

本日はありがとうございました。



スマイルボックス 高橋 政史 委員 本日 ¥6,000 累計 ¥266,266-

小柳 智裕 副会長、黒坂 毅 幹事

皆さん、今週末から寒波が再び関東地方を襲います。インフルエンザも増加傾向です。お身体ご自愛くださいませ。本日の卓話、土屋大輔や会員どうぞよろしくお願い致します。

北砂 明彦 君

本日の卓話、「職業奉仕について」土屋会員のありがたい言葉一つ一つを聞き逃さないよう、拝聴させていただきます。

橋本 日吉 君

土屋 大輔 会員、本日の卓話「職業奉仕について」よろしくお願いします。楽しみにしております。

中村 友彦 君

土屋さん本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

高橋 政史 君

創業記念日のお祝いありがとうございます。